

1 町民カレンダー

月4日～2月3日

1 月		20金	●3歳児健診(農業研修所:受付=PM1:30~PM2:00)
4水	先負	21土	友引
5木	仏滅	22(日)	先負
6金	大安	23月	仏滅
7土	赤口	24火	●乳児健診(農業研修所:受付=PM1:30~PM1:50) 大安
8(日)	先勝	25水	●麻疹予防接種(寺泊町体育館:受付=PM2:00~PM2:15) ●国民年金保険料1月分納期限 赤口
9月	友引	26木	文化財防火デー ●和太鼓講座(寺泊町公民館:PM7:30~) ●絵画教室(大河津公民館:PM7:30~) ●麻疹予防接種(農業研修所:受付=PM2:00~PM2:15) 先勝
10火	先負	27金	●3歳児健診(母子健康センター:受付=PM1:30~PM2:00) 友引
11水	仏滅	28土	●尺八教室(大河津公民館:PM7:00~) 先負
12木	大安	29(日)	仏滅
13金	赤口	30月	●リハビリテーション(母子健康センター:AM8:30~PM0:30) 大安
14土	先勝	31火	●町県民税4期納期限 先勝
15(日)	友引	2 月	
16月	先負	1水	1995年農業センサス調査日 友引
17火	仏滅	2木	●和太鼓講座(寺泊町公民館:PM7:30~) 先負
18水	大安	3金	●乳児健診(母子健康センター:受付=PM1:30~PM1:50) 仏滅
19木	赤口		●和太鼓講座(寺泊町公民館:PM7:30~)

火の用心 火災・救急は119

* 消防の問い合わせは 0258-75-2476

広報

てんぞまき

1995 新年号 No.231



絵画「はまなす讃歌」図案

今月の主な記事

- 新年のご挨拶
- 町の家計簿

● 平成7年1月1日 寺泊町役場発行
 ● 〒940-25 新潟県三島郡寺泊町大字寺泊字上田町8224の2
 ● 総務課編集 TEL 0258-75-3111(代)

(関連記事8ページ)

綴帳の図案決まる!

多目的ホール

文化センター「はまなす」

新春のお慶び

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。
 昨年夏は、記録的な猛暑と干天続きで海辺は、より賑わいをみせ、水稲も又豊作に恵まれました。冷夏の夏から一転して酷暑の年へと、大自然は人間社会に大きな光と陰を刻みつけながら明日と未来に向かって力強く歩んでいるのであります。本年はどのような年になるのか予測できませんが、少なくとも心暖まる年でありますことを町民の皆さんと共に心から祈念するものであります。

今、吉集落の丘陵地の一角に姿を現しつつある統合中学校。そして磯町に建設中の文化センター、いずれも新しい年の暖かい贈り物となることを期待して止みません。然し眼を転ずれば厳しい企業のリストラと産業の空洞化が大きく叫ばれております。そして高齢化社会がすぐ目の前にあります。いまこそ既成の観念にこだわらない発想が強く行政に求められているのではないのでしょうか。

今、桐島・桐原地区に明日の農業を支える砦として県営大規模圃場整備が進められております。農業新生の夢を育む圃場が見事に出来たとしても



年頭のご挨拶

寺泊町議会議長 近藤敏郎

依然として変わらぬ営農観念に固執していれば、ウルグアイランド、WTO、等次々に押し寄せる大波を乗り切って進むことが出来るでしょうか。ここにも発想の転換が求められているのであります。私達議会人もまた、自らの立場を十分認識し議会活動の発想を転換しなければならぬことは言うまでもありません。

町当局の町発展への意欲・熱意に車の両輪の如く力を合わせなければわが町の将来に夢を期待できないのであります。自然的環境に恵まれたと思われるわが町に生まれて・育って・住んで・生きてゆく私達・地方自治の発展と民生の安定の原点はわが町を愛することから始まるものと私は理解しております。

今後、私共議会人は町民の皆さんと共に一層の努力を傾注したいと存じます。新春を迎えるにあたり町民各位の一層の御健勝・御多幸を衷心より御祈念申し上げますと共に変わらぬ御指導、御鞭撻を心よりお願い申し上げます。御挨拶と致します。

を申し上げます



新年のご挨拶

寺泊町長 高橋 誠

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。
 皆様には清々しく新年をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。
 当町の最重要課題でありました、二つの大事業の統合中学校も平成八年四月開校めざし、用地造成と併せて校舎建築を進めております。

町民待望の文化活動の拠点、文化センター「はまなす」も今年九月オープンに向け、着々と進んでおります。

この二つの大事業が終った後、最優先をして取り組みたい大事業に、大河津中学校の跡地に農村環境改善センターを建設し、大河津中学校なきあとの地域の拠点・農村農業に活気がみなぎるような位置付けと併せて高齢化社会の到来を間近に控え、保健と福祉施設を兼ね備えた施設の早期建設に向け、取り組みます。

住みよい快適な地域づくりのための、懸案事業でありました下水道事業も、カギをにぎっております。終末処理場の位置が特定できるところまでまわりましたので、早期着手を図る所存であります。

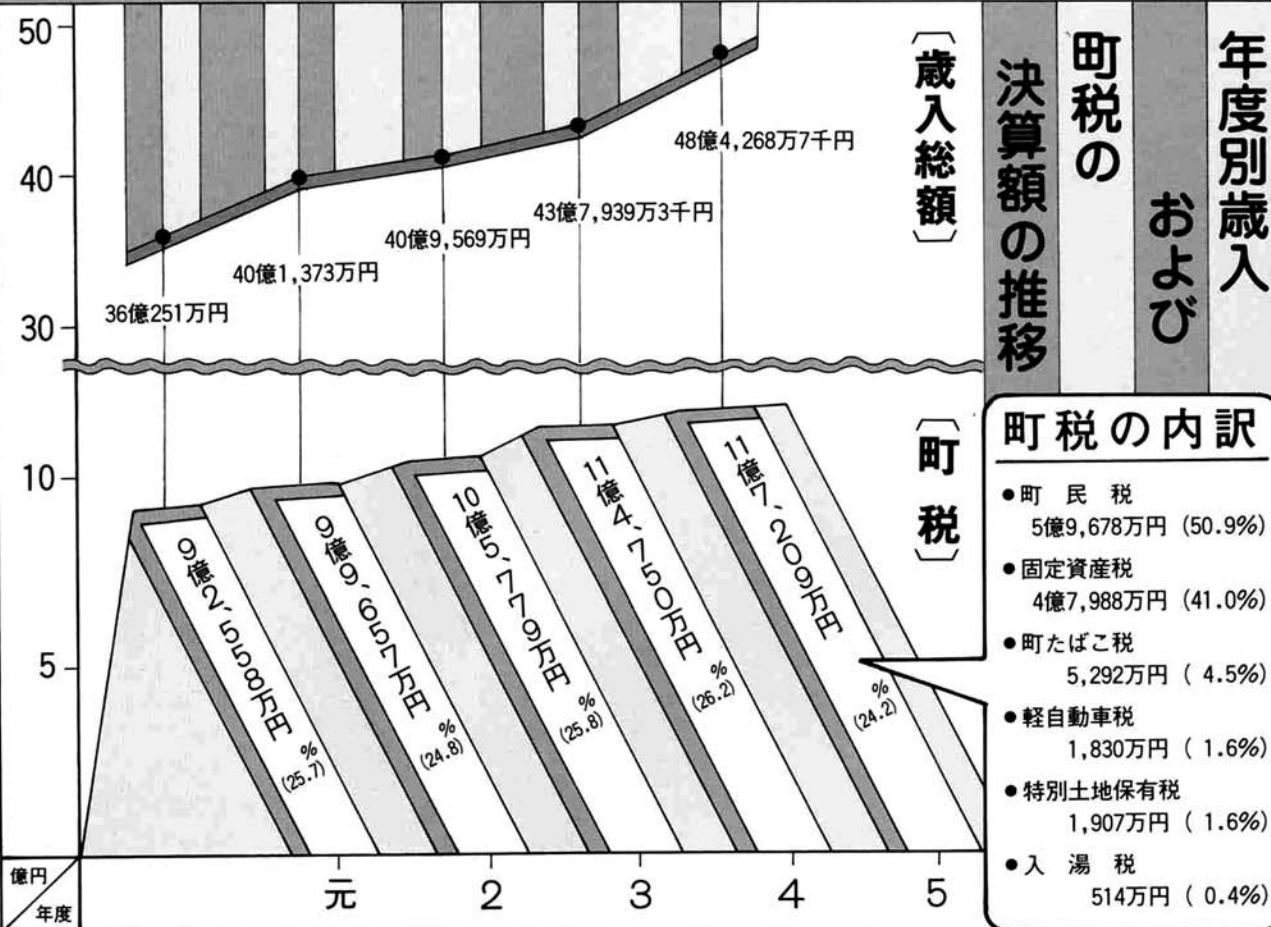


生活環境の整備、高齢化に伴う住民福祉の充実、健康で明るく住み良い町づくり等々、きめ細やかな施策の実現に意をもちいてまいります。まだまだ数多い課題が山積しております。

これら実現にむけ全力で取り組んでまいりますので一層の町民各位のご支援ご協力をお願い申し上げます。年頭のご挨拶といたします。



数字で
見ると
たらどまり



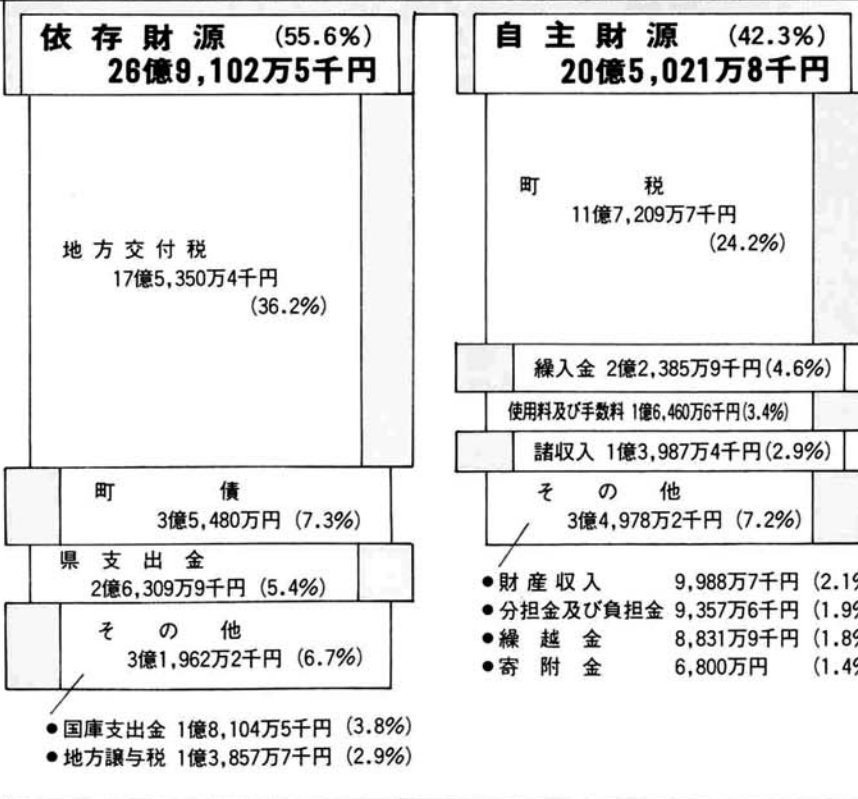
平成五年度一般会計及び特別会計等の決算が十二月定例町議会で認定されましたので、その決算概要をお知らせいたします。

行政改革を推進し、健全財政の確保に努めることを基本として、歳入の確保に努めるなか、既存の制度、施策の徹底した見直し及び優先順位の厳しい選択による歳出の抑制を図り、町民ニーズの高い施策及び社会経済情勢の推移に即応した真に必要な施策を積極的に努めました。

平成五年度の一般会計は、歳入（入ったお金）四八億四、二六八万七千円、歳出（使ったお金）四六億七、七三六万四千円とそれぞれ昨年度決算を大幅に上回りました。

また、歳入歳出差引額は、一億六、五三二万三千円、翌年度へ繰越すべき財源八、五六四万二千円を差し引いた実質収支額は七、九六八万一千円の黒字決算となり、健全な財政運営を進めることができました。

入ったお金 48億4,268万7千円 (%は構成比)



その他財源 1億144万4千円 (2.1%)

自動車取得税交付金 5,221万8千円 (1.1%)	利子割交付金 4,276万4千円 (0.9%)
特別地方消費税交付金 303万1千円 (0.0%)	交通安全対策特別交付金 343万1千円 (0.1%)

使ったお金 46億7,736万4千円 (%は構成比)

土木費 9億4,658万2千円 (20.2%)	3億2,205万9千円 (6.9%)	衛生費
教育費 9億387万8千円 (19.3%)	3億1,862万8千円 (6.8%)	農林業費 水産
民生費 6億7,507万1千円 (14.4%)	2億1,256万9千円 (4.6%)	消防費
総務費等 6億6,439万2千円 (14.2%)	1億8,168万5千円 (3.9%)	商工費
公債費 3億4,707万1千円 (7.4%)	1億542万9千円 (2.3%)	議会費

生きています
あなたたちの税金
に
町づくり
に
町民の暮らし
に
活力
を
あなただけ
に
よ
く
住
み
ま
す
一
般
会
計
と
特
別
会
計
の
区
別
を
行
い
ま
す
平
成
五
年
度
の
決
算
が
認
定
さ
れ
ま
し
た

**町の
家計簿**

町債の現在高

- 一般単独事業債(町道整備他) 17億1,457万 3千円
- 義務教育施設整備事業債(小・中校舎整備他) 3億8,701万 4千円
- 県貸付金(道路整備他) 2億4,247万 1千円
- 一般公共事業債(港湾改修・農業基盤整備他) 9,520万 9千円
- 厚生福祉施設整備事業債(保育所・運動施設他) 7,762万 1千円
- 公営住宅建設事業債(公営住宅) 6,492万 6千円
- その他(災害復旧事業債他) 2億4,903万 7千円

町の財産

- 土地……………476,469㎡
 - 建物(延面積)……………40,182㎡
 - 有価証券・出資による権利・債権……………969万円
 - 物品(車など1品又は1式50万円以上)……………123品目
 - 基金……………29億6,787万9千円
土地32,742㎡
- 基金の内訳**

 - 財政調整基金……………4億3,807万4千円
 - 役場庁舎建設基金……………5億3,734万2千円
 - 地域づくり特別事業基金……………5億 741万円
 - 学校施設整備基金……………7億7,071万4千円
 - その他の基金……………7億1,433万9千円

特別会計

老人保健	国民健康保険	国民健康保険診療施設	企業用地造成事業
歳入 12億3,218万1千円 歳出 12億1,772万2千円 歳入歳出差引額 1,445万9千円 (差引額全額は、平成6年度社会保険診療報酬支払基金へ返還された。) ●対象者1人当りの医療費 636,257円	歳入 7億6,628万8千円 歳出 7億2,747万1千円 歳入歳出差引額 3,881万7千円 ●被保険者1人当りの税負担額 67,314円 ●被保険者(老人を除く)1人当りの医療費 202,743円 ●被保険者(老人)1人当り老人保健拠出金 162,803円	歳入 1億3,503万5千円 歳出 1億3,228万3千円 歳入歳出差引額 275万2千円	歳入 6,773万6千円 歳出 6,773万6千円 歳入歳出差引額 0円

水道事業会計	住宅用地造成事業	公共用地取得事業
収益的収入及び支出 ●事業収益 4億4,804万9千円 ●事業費用 3億7,866万 円 資本的収入及び支出 ●資本的収入 1億7,113万9千円 資本的支出 2億9,421万7千円 資本的収入額が資本的支出額に不足する額1億2,307万8千円は、過年度損益勘定留保資金1億2,307万8千円で補てんした。	歳入 808万4千円 歳出 808万4千円 歳入歳出差引額 0円	歳入 368万4千円 歳出 368万4千円 歳入歳出差引額 0円

土木費	民生費	教育費
9億4,658万2千円(20.2%) ●道路維持費……………3,710万円 ●道路新設改良費……………5億7,572万円 ●橋梁新設改良費……………1,296万円 ●除雪対策費……………2,267万円 ●除雪ドーザ購入費(1台) 1,044万円 ●河川維持費……………1億4,939万円 ●急傾斜地崩壊対策事業負担金(夏戸川西・荒町地区) 1,064万円 ●海岸環境整備事業負担金(郷本海岸地区) 390万円 ●港湾改修・整備事業負担金 3,585万円 ●下水道整備基本計画・事業計画策定事業 1,267万円	6億7,507万1千円(14.4%) ●重度心身障害者医療費助成事業 559万円 ●社会福祉協議会補助金……………499万円 ●ホームヘルパー派遣事業 507万円 ●老人短期入所事業……………616万円 ●寝たきり老人家庭援助事業 248万円 ●老人福祉施設入所措置事業 1億 367万円 ●保育園児送迎バス運行事業 1,765万円 ●保育所等運営費……………2億3,638万円 ●寺泊保育園措置委託料 4,895万円	9億387万8千円(19.3%) ●小学校営繕工事……………1,168万円 ●中学校営繕工事……………150万円 ●小中学校教材等備品整備費 1,040万円 ●通学費及び遠征費補助金 349万円 ●統合中学校用地造成工事 1億8,561万円 ●生涯学習推進費……………167万円 ●公民館費……………939万円 ●水族博物館管理費……………1億1,716万円 ●青少年研修センター移転改築事業 6,500万円 ●体育施設整備工事……………964万円 ●文化センター建設費……………3,443万円
消防費	商工費	
2億1,256万9千円(4.6%) ●常備消防費 1億6,973万円 ●小型動力ポンプ積載車(1台) 247万円 ●非常備消防費 2,390万円 ●拡報無線拡報所改設工事 142万円	1億8,168万5千円(3.9%) ●商工会補助金 1,100万円 ●商店街リフレッシュ事業補助金……………400万円 ●地方産業育成資金貸付金……………2,400万円 ●観光協会補助金 1,090万円 ●季節旅館改善育成資金預託金……………702万円 ●公園管理事業 1,878万円	
総務費及びその他	農林水産業費	衛生費
11億1,689万2千円(23.9%) ●広報てらどまり発行費……………327万円 ●地域づくり特別事業費……………588万円 ●町税賦課業務等電算委託料 826万円 ●衆議院議員選挙費……………454万円 ●議会費……………1億 543万円 ●公債費……………3億4,708万円 ●水道事業会計負担金……………828万円 ●水道事業会計補助金……………7,764万円	3億1,862万8千円(6.8%) ●水田営農活性化対策事業 842万円 ●県営高生産性大区画ほ場整備事業負担金(桐島・桐原地区) 1,224万円 ●団体営農道整備事業(田頭地区) 5,126万円 ●農村総合整備モデル事業(寺泊地区) 8,411万円 ●林道寺泊1号線開設事業 3,248万円 ●松くい虫防除事業……………423万円 ●水産業奨励事業補助金……………480万円	3億2,205万9千円(6.9%) ●精神障害者医療費助成事業 452万円 ●各種疾病予防事業……………759万円 ●母子保健事業……………645万円 ●環境衛生事業……………1,003万円 ●老人保健事業……………1,992万円 ●塵芥収集運搬業務委託料 2,821万円 ●三島郡清掃センター組合負担金 1億6,979万円





「寺泊大漁太鼓」 ただ今特訓中



「はるか佐渡沖まで及ぶ漁場はいつも魚でいっぱい。寺泊は日本海の中でも最も新鮮で大量の魚が獲れる処です。さあ今日も大漁みんなで網を引き、大漁を祝いまし

よう。(以下略)
寺泊大漁太鼓の作曲者、竹田満先生のイメージです。
この曲は「回文形式」という、前本邦初の試みの曲です。

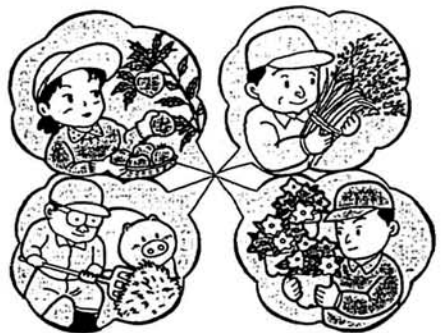
五月から毎週木曜日の夜、分水太鼓打ち手を講師とした和太鼓講座のメンバー三十名が練習台を叩くリズムの音が響きます。
このほど、待望の曲ができあがり、練習にも一段と熱気が加わりました。
来年秋の文化センター「はまなす」オープンを目指して町民のみなさんに腕前を披露できるのを目標にがんばっています。

1995年 農業センサスにご協力ください。

2月1日調査

農林水産省では、平成7年2月1日現在で、全国の農家を対象に「農業センサス」を実施します。

この調査は、我が国農業の生産・就業等に関する基本構造の実態と変化を明らかにするとともに、土地、労働力、資本の資源総量を捉えるための統計調査です。調査の結果は、国や地方公共団体をはじめ各方面で農業施策推進などの基礎資料として広く利用されます。調査員がお伺いして、農業の経営状況などお尋ねしますのでご協力をお願いします。



文化センター多目的ホールのメインシンボルとなる

緞帳の図案が決まりました

待望の「寺泊町文化センター」が今年の秋の完成をめざして着々と工事が進んでいます。
先日、皆さんから応募いただいた、多目的ホールの緞帳図案の審査が行われ、山ノ脇小学校3年生の共同作品「はまなす讃歌」が採用されることになりました。
(表紙写真)

この作品は、「はまなす」の花が群生している様子を描いた、横2m25cm・縦76cmの大作で、まさに寺泊文化センターにふさわしい図案です。
緞帳図案の応募には、個人・共同作品・学校をふくめて30点の応募がありました。審査員の先生の厳選の結果、下記の作品が入選となりました。
▼審査員の先生
永井 義郎先生
(長岡造形大学教授)
菊地 美秋先生
(東小千谷小学校長・元新潟県美術館長)

審査結果

区分	作品名	作者
最優秀作品	「はまなす讃歌」	山ノ脇小学校 3年生共同作品
優秀作品	「北前船来港」 (白山神社船給馬より)	野積高屋6059-3 長原 実さん
	「瑞(ずい)」 (日・月・星)	松沢町948 松浦 紀子さん
	「蓮(さざなみ)」	蔵場町8299 納谷 佳子さん
	「躍動(やくどう)」	片町 指田 孝平さん



緞帳審査の様子

「はまなす讃歌」
はまなすの群生や、飛ぶかもの表現を通じて、若々しさ、楽しさ、希望、未来といった情感が見る者の胸に伝わって来ます。
寺泊町の歴史と伝統に加え、この作品に表現されたものがこれからの寺泊町に望まれ、新しく建つ文化センターにふさわしい作品でありました。

採用された作品について、審査員の先生のコメントをいただきましたので紹介します。

三年連続受賞

—新潟日報社主催—

「地球環境を守る提言コンクール」



夏戸 小黒 弘さん

「地球環境を守る提言コンクール」(新潟日報主催)に夏戸の小黒弘さんの提言「小鳥の生息を助ける実践」が見事、一昨年、昨年の受賞に続いて今年度も秀作賞を受賞し三年連続受賞の栄誉に輝き新潟日報社より表彰されました。
小黒さんは町の町史編集委員をつとめ、寺泊町の歴史、夏戸城・志駄氏の研究家として知られ、これまでに数多くの研究団体・学校等の要請に応じて講演を行い、原稿を提供してこられました。また英語教育・青少年教育・進路指導等について数多くの優れた研究論文を発表し、研究発表を行い、教育関係者から高く評価される等幅広い活躍をしておられます。

「小鳥の生息を助ける実践」

(要旨)

大切な地球環境を守り豊かな自然を次の世代に引き継ぐためには、生態系を維持していくことがぜひとも必要である。
このため私は広い庭や私有の森林の植物群を保護し、花の蜜や木の実等を生かし、小鳥の生息を助ける実践を続けている。
私の家の庭や森林には数多くの種類の留鳥・夏鳥・冬鳥・漂鳥が飛来してくる。これらの小鳥達の特性を研究しそれぞれの小鳥達が生き生きと生息できるように環境を整えている。
そのため、梅・椿・牡丹・サツキ・バラ・ダリア等の花を整え、花の蜜を好む小鳥のために準備している。
また多くの小鳥達が庭や森の果実を好んで食べるので数多くの種類の果実を確保し提供している。
さらにツグミ・ジョウビタキ等渡り鳥に対しても、よく観察し、環境を整え、必要に応じて給餌を行う等援助を行っている。
小鳥の特性を知悉し、それぞれに応じたサポートを実践することが生態系を維持し地球環境の保護に役立つと考え、美しいさえずりを聞きながら楽しく実践を続けている。

今年 は亥年

今年 亥年 十二支の最
後の干支です。十二の
方角を示す十二支それぞれに動物
を当てたのは中国ですから、中国
でも当然同じ亥年です。しかし、お
もしろいことに、中国ではカレン
ダーなどにかかれる絵は、イノシ
シではなくブタの絵を見かけます。
イノシシはブタの先祖ですから、
同じようなことなのでしょうが、
さて、イノシシは、日本では北
海道、東北、北陸の一部を除いた
広い範囲に分布しています。奄美
大島や沖縄などには、琉球イノシ
シと呼ばれている小型のものが生
息しています。



性があるので、たんぼを荒らすこ
ともしばしばです。このため、人
間はイノシシを害獣とし、畑やた
んぼに垣などをめぐらし、イノシ
シの侵入を防ぎます。

人間

は、昔からイノシシを
さまざまな利用してき
ました。肉は獣肉を食べることを
忌避していた時代から、「山くじ
ら」と呼んで食べてきました。毛
はブラシに、歯は印材に、胃液は
マムシにかまれたときに使ったと
いいます。皮は靴用に使われまし
たが、それは怒り毛で縫ったよう
です。

イノシシは夜間に食を求めて人
里に現れ、栗や芋、稲などを食べ
てしまいます。芋は鼻鏡を巧みに
使って掘り起こし、栗はきばで穴
を開けて食べます。また、ぬた
を打つ」といって体に泥を塗る習

イノシシといえば、猪突猛進と
いう言葉を連想します。でも、い
まはゆとりの時代です。暮らしに
メリハリをつけ、猪突猛進をした
ら、ゆっくり休むようにしたいも
のです。



写真説明
17名の皆さんが参加した第1時学習会(11月16日)。ごみ処理の現状と処理に伴う問題について、町保健衛生課長の説明を聞く。

シンポジスト(清掃センター主査)
小笠原 隆士 さん

【ゴミ出しは正しく分別をして!】

- 不燃ゴミの中には、ペットボトルやビデオテープなどの可燃ゴミが混入していることが多くある。それらがセンター施設の処理能力を低下させ、補修経費の増大にも結びつく。ぜひ正しい分別の努力を。
- ダンボールは50cm以下に切断したり、砂が混入しないよう留意したりしてほしい。
- 各地域での月1回の分別収集の特別な試みなども必要。

シンポジスト(町保健衛生課長)
吉井 功 さん

【町と町民が一体になって解決を!】

- 現在、清掃センターの運営費の40%を寺泊町が負担している。
- 今後の施策として、「生ゴミ処理器の普及啓発」や「リサイクル運動の推進とゴミ回収システムの確立」などを考えている。また、将来的にはゴミ収集の有料化なども検討。
- やはり、町民と行政、事業所が協力して解決策を講じることが大切。

全体指導

[長岡市市民環境部環境衛生業務課長]

金垣 伍作 さん

金垣さんは、これまで環境問題に関して長岡市内小学校PTA研修会で指導を行ったり、資源回収モデル地区を設定したりするなど、積極的に地域の啓発を行っておられる。

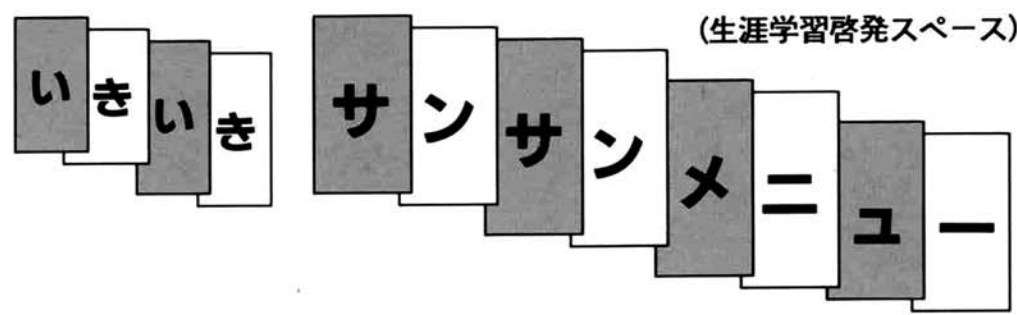
【考え方は地球規模で、行動は足元から!】

- ★ 地球の温暖化、人口増と食糧難から世界的な規模で環境へのやさしさが問われている。また、森林の大量伐採により、資源のリサイクルも必要な時代。
- ★ ゴミの減量化とリサイクル社会の実現に向けて、一人ひとりが大量生産や大量消費を見直し、持続可能な循環型社会を作り出すことが必要。
- ★ そのために、子どもから大人まで、ゴミ分別と節約の良習慣を身につけることが大切。

参加者のみなさんの声から……

- ☆ 物を大切にすることを、親の姿から自然に子どもに身につけさせるようにしたいと思った。
- ☆ ゴミ分別をあらためて認識。リサイクルも含めてまず家庭で始めてみようと思った。
- ☆ 文書や広報だけでなく、こうしたシンポジウムで周知すれば町民も認識すると思う。
- ☆ リサイクルに関する具体的・専門的な話も聞きたいと思った。ぜひ計画を。
- ☆ ゴミ問題は大きな関心事。広報でコラムをつくり、「私のゴミ減量大作戦!」なども。
- ☆ 意義のある催し。もっと早くやっていたなら、今頃効果が出ているのでは。
- ☆ 司会進行がうまく分かりやすい。シンポジストもそれぞれの立場からよく研究していた。
- ☆ 1日100gの減量……わが家でも早速実行していきたい。

など多数の声をいただきました。ありがとうございました。



**“減らそうゴミ、生かそう資源”
生涯学習町づくりシンポジウム開催!**

去る12月10日(土)、町体育館第1会議室においてゴミ問題をテーマに町づくりシンポジウムが開催されました。122名もの皆さんが参加し、町民のゴミ問題に対する関心の高さを知ることができました。紫竹聡子TNNテレビ新潟アナウンサーの司会により、6名のシンポジストからゴミ処理の実情と問題点、解決策について意見発表が行われ、参加者からも地区で取り組んでいるリサイクル活動や生ゴミを利用した肥料づくりが紹介されました。



【6名のシンポジストの発表】

最後に指導者から環境問題への取り組みの大切さについて全体指導がありました。

紫竹アナウンサーは環境問題に強い関心をお持ちで、県内各地で取材活動を行い情報提供する幅広い知識を交えながらの進行でした。

今回のシンポジウムが、今後地域の皆さんがゴミ問題の解決に向けて、積極的に取り組むための足がかりになればと思います。

シンポジストの皆さんがそれぞれの立場から発表した意見と全体指導の概要を紹介します。

シンポジスト(町商工会婦人部)
渡辺 美知子 さん

【1日100gのゴミの減量を!】

- 1日一人100g(みかん1ヶ分)のゴミの減量は1年間で約115トン、金額にして400万円もの経費の節約になる。“捨てればゴミ、使えば資源”の言葉通り、一人ひとりが物を捨てる前にもう一度考えてみる努力が必要。
- 町民と行政、業者が協力して実践活動を試みることも大切。

シンポジスト(環境と福祉を考える会)
加藤 徹 さん

【ゴミにもっと問題意識を!】

- 町民一人ひとりがゴミ処理の実際を知らないために、身近な問題として感じることが難しい。問題意識を高めるため、町民と行政、業者が一体になって環境問題に関する学習会を開くことが必要である。
- 現在取り組んでいる「花いっぱい運動」等の実践活動の広がりが意識の高まりやゴミの減量化に結びつく。

シンポジスト(主婦)
藤田 春美 さん

【情報提供と学習の場の設定を!】

- 清掃センターを中心にしたすばらしい設備が、逆に町民のゴミ問題に対する意識や関心を低下させているのでは。今後も学習の場を設定し、資源問題のPRをすることが大切。
- 観光業者から出るゴミと一般家庭から出るゴミを区別することが必要。
- 資源ゴミの回収を試みることも必要。

シンポジスト(寺泊中学校長)
大久保 由夫 さん

【意識の高まりは実際行動から!】

- 学校での子ども様子を見てみると、清掃をしようとしていない・できない子がいる。さらに、ゴミに気づいても捨てようとしていない子がいるなど、生活の技術が身につかない傾向にある。家庭において家事をしないことも一因と考えられる。
- 授業(理・社・技家)で行っている環境学習を家庭での実際行動に生かすことが大切。

ちょっと異文化体験!!

～異文化理解と国際交流・国際理解講座～

去る、十一月二十七日、新潟大学人文学部助教授土屋千尋氏とインターメディアスクール校長(前)モスクワ放送極東支局日本課長(前)ウラジーミルカルポフ氏(ロシア)をお招きし、「異文化理解と国際交流」と題しての国際理解講座(新潟県国際交流協会との共催)が開催されました。



土屋先生「相手の立場にたったのしい国際交流を」、ウラジーミル先生「ペレストロイカとロシア」の基調講演では、エジプトからの留学生の宴会にまつわる悩み(宗教による戒律と日本の習慣との狭間で揺れ動くころ)、行儀の悪い娘の友達(外国人の生活習慣の違い)、ペレストロイカがもたらした物は(歴史的判断は数百年後)、変動のロシア(毎日がペレストロイカ)といった内容で、異文化理解の必要性と国が違っても人と人と交流には変わりがなく相手を思いやる優しいこころの重要性を、体験談をふんだんにまじえながら、分かりやすく時には聴衆者席に入り話すなど会場全体が一体となった素晴らしい講演でした。



ひき続き開催された交流会(立食パーティー)では、新潟県国際交流員(CIR)三人(アメリカ・中国・フランス)と英語指導助手(ALT)二人(オーストラリア・カナダ)も参加し講師を含む六人六様の生活習慣の違いや、日本にきてからの率直な感想など参加者との異文化コミュニケーションシーンが会場のいたるところで見受けられました。

新長から参加した高校生とその友達で妙高村から参加した二人の高校生は最初の内ちよつと遠慮がちに話しかけていましたが、交流会が終わる頃には六人全員の外国人と一通り会話を楽しんだようでした。

また、会場には学校間国際交流の一環で行われている、本山小学校とシューマン小学校(ドイツ)との交換作品が展示され参加者の目を引いていました。



お知らせ 消防出初式

- 日時 1月8日(日) 午前10時
- 場所 町体育館

*朝8時00分に消防団員の招集サイレンを鳴らしますので、火災とまちがわないようにお願いします。



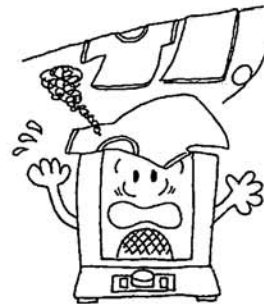
石油ストーブの取扱いには十分な注意を

寒い時期を迎えていますが、ストーブなどの暖房器を使用したい、特に、持ち運びが出来る石油ストーブは、操作も簡単なことから家庭や事務所など広く用いられています。このような場所は、周囲に衣類、書類、カーテン等の燃えやすいものがあることが多く、火災に対する十分な注意が必要となります。

石油ストーブなどによる火災を防ぐには、次の事項を守ることが大切です。

- ストーブの周囲の可燃物に注意
- ストーブの近くに紙・衣類など燃えやすい物を置かない。
- カーテン等がストーブに接触しないようにする。
- ストーブの上方に洗濯物を干さない。
- カートリッジタンク式の場合は、給油の際、タンクの栓がきちんと締まっている事を確認する。

●消火してから給油する。
以上のことをお守りください。
なお、消防では広報車で「カーン、カーン」火の用心と聞こえたら、おやすみ前、お出かけ前にもう一度火の元を点検し、普段以上に火の用心に注意しましょう。



「消火栓の除雪にご協力を」

いよいよ本格的な雪のシーズンを迎えました。降雪時には消防署と消防団で消火栓の除雪を行います。地域のみなさん方におかれましても、身近なところの消火栓の除雪にご協力をお願いします。

休日夜間における病院照会について

軽症等で、自分で病院へ行かれる場合は、病院を照会致しますので、消防署まで問い合わせ下さい。電話 (0258-75-2476)

火の用心 防犯と健康で……

＝一人住まいのお年寄りを訪問＝

昨年暮れに、一人住まいのお年寄りの家庭を訪問しました。これは、お年寄りの防火意識の高揚と、火災を未然に防止し、健康で明るい生活を送ってもらうことを目的として、役場のホームヘルパー、警察署の協力を得て、毎年行っているものです。

診断内容は、火気使用器具をはじめ、防犯、健康状態など各項目ごとに調査し指導しました。



進学率 倍増へ

低迷を続けていた本校の進学状況は、平成五年度に二名の四年制大学進学者を出し、これをきつかに平成六年度は、四年制大学二名、短大六名計八名の進学者がありました。

専門学校等も含め、上級学校への進学率は、受験後の結果待ちの生徒五名を含めると実に40%に達することになりました。

また、就職志望者も、希望の職種に次々と採用され、現在(十二月十二日現在) 100%決定しております。

以上の進学者は、すべて推薦入学で合格が確定したものであります。推薦入試とはいえず、小論文や面接試験が課せられ、推薦だけで合格したわけではありませぬ。以前から、本校では上級学校の志望者には、個別指

導を行う体制はありましたが、本年度にいたってやっとその体制が生きてきました。
本校の生徒はどちらかといえ、コセコセすることなく、おらかな学校生活を過ごしているものが多いが、本年度卒業予定者については、はっきりと将来の目的を定め、それに向かって努力をする生徒が多く、それが進学に表れ、またこの不況の中での就職率100%に出ています。「やればできる」と生徒は大きな自信をもって次のステップを進めることでしょう。

自画自賛ではありませんが、先生方の努力も大変なものがありません。小論文に、数学に、一般常識の問題に個々の生徒の指導を行ってこられた先生方、進路の係、担任の先生方、多忙な中での指導でありました。この結果はまた、我々にも大きな自信を与えてくれました。「やればできる」。

本年度の成果が来年度につながるよう更に努力したい。地域の方々にも絶大な応援をお願いいたします。

年度	卒業年度		進学		就職		進学率	
	卒業数	進学	進学率	就職	進学率	就職率	進学率	
六年度	八八	二	2.3%	二	2.3%	二	2.3%	
五年度	八二	〇	0%	四	4.9%	四	4.9%	
四年度	七五	〇	0%	四	5.3%	四	5.3%	
三年度	七七	〇	0%	三	3.7%	三	3.7%	
二年度	七〇	一	1.4%	四	5.7%	四	5.7%	
一年度	六三	一	1.6%	三	3.7%	三	3.7%	
計	一〇一八	二	0.2%	二〇	2.0%	二〇	2.0%	
計	一〇一八	二	0.2%	二〇	2.0%	二〇	2.0%	

ボケってなあに? その5

痴呆の介護で最も求められるのは、お年寄りの生き方や考え方をそのまま受け入れてあげること、そして孤立させずに、自信を持たせて生きる元気を与えてあげることです。そのために大事なコミュニケーションのとりかたの工夫を考えましょう。

コミュニケーション — 心をうけとめて —

話すときはつぎの工夫をしましょう

- ・聞こえているか確認する。
- ・お年寄りの話に耳を傾け、同じ話でも面倒がらずにうけとめる。
- ・優しくおだやかな声で近くで話す。(後から声を掛けると振り向くときにバランスを崩して転びやすい)
- ・お年寄りが理解できる言葉、短い言葉で話す。
- ・大事なことは、会話の中に何度も繰り返し入れる。
- ・一度に一つの質問をする。一度に一つの内容を話す。

スキンシップが大切です

話すときは肩に手をおいたり、手を握ったり、背中から支える。言うだけでなく手を添えて、一つ一つの動作ができるように導く。

「いつもありがとう」...これは、かなりボケが進行したMさん(72才)が、黙々としもの世話をすお嫁さんに、ふともらした言葉です。介護5年目にして初めて聞く嬉しい言葉に、このお嫁さんは涙を流し、「介護して本当に良かった」と言います。体の介護は、実は心の介護でもあったのでしょうか。この様に、ボケてしまった

〈介護余話〉
体を看ることは、心を見ること

むかしあれこれ

その32

寺泊町史に拾うめでた・めでた



大地 山田謙治家文書

たというのである。良寛は更に「良寛僧が今朝の朝花もて逃くおん姿後の世まで残らむ」とも詠んでいるが、花泥棒の事件が実際あったというよりも花を愛する良寛の心象風景であると思われる。良寛が国上に住んでいた頃、五年の歳月を要して円上寺湯干拓工事が行われた。長年水害悪作に泣いた湯周辺の農民にとって、文化十二(一八五)年の竣工は無上の喜びであり、祝賀会は世紀の賑わいであった。地蔵堂の詩人富取益齋は祝詩を詠んだ。「本邦未だ此の例あるを聞かず、役する人夫四十万、金を費す二万両、此に於て七村の百姓水害を免れ、安じて耕すを得、益を蒙る村落凡そ二十余咸此恩恵なり、故に今日の喜びは千百世の喜びなり。」

益齋は文政六(一八二三)年にも歌会を開き、円上寺湯開拓祝歌の撰をして「今年より植うる早苗の数増して穂に出でむ秋の限り知られず(秀富)」「真孤生る沢辺を小田に打返し稲の穂波ぞひた寄するなり(忠宜)」。

折・鯉節二連・鯛一折・大根二本・精米一袋・家内喜多留(酒)一荷」とあり、大根二本の形が意味深長である。山田家は村庄屋であるから先方の心遣いも大きく、更に「末広一本・畳紙一折・帯一筋・袴一具・小袖一重ね」、また三枚目の目録には「扇子一箱・皆子餅一器・熨斗鮑一折・竹葉一樽」と記され、これらの他に家族銘々に帯地・足袋・袱紗、使用人五人、酌人・料理人には祝儀が包まれ、親類衆には鯉節・煎茶が配られている。進上目録三枚は結納から三つ目(式後三日)の振舞までのものであろうがなかなか豪華である。因みに山田家の持参金は二〇両であった。

文政四年、桑名藩は九〇歳以上の老人を表彰し長寿扶持米(一日五合の割)を支給しているが、戸嶋村喜之八母・北曾根村林右衛門母・求草村三郎右衛門母・野積村金五右衛門母の名が記されている。老人衆は餅米三合を小俵に入れてお上へ差出す慣わしであるが、喜之八母は夜も寝ないで布一反を織り上げて献上している。明治四十二年七月五日、大天津分水の起工式が寺泊海岸で行われた。新聞は「寺泊に通じる道路は人波に溢れ、一里に長き町も人頭で埋められて身動きする余地なし。内務大臣一行を迎え、五発の花火と共に千人余の来賓参列、一般群集は蟻の如く」と報じた。

あらたまの年は消えゆき年は経ぬ
花盗人は昔となりぬ 良寛
新しい年を迎える毎に「野積の寺で花を盗んだ」悔恨が日に疎くなるのを詠んだものである。花盗人と題する長歌にも、西生寺の境内に咲く梅に心惹かれた良寛が、「根こぎにせんと、分け行きて、忍び忍びに、辿りつつ、み垣に立」った所を「人は見て、鐘打ち鳴らし、呼び立てて、道もなきまで、囲みつつ、花ぬす人と」罵つ

大地の山田謙治家所蔵の「文化十四年十一月九日 婚姻祝儀留帳」はおもしろい。娘の婚姻先である坂田太左衛門からの目録は、進上として「扇子一箱・昆布一

花火と共に千人余の来賓参列、一般群集は蟻の如く」と報じた。

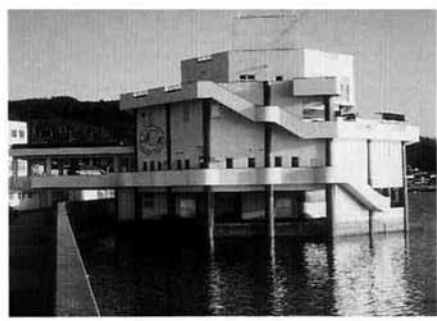
● かんたんごま豆腐

〈協力いただいた方〉
寺泊町食生活改善推進委員 河野 キセさん

★かんたんごま豆腐
☆材料(5人分)

・よしのくず 100g	・ねりごま 90g
・水 5カップ	・砂糖 60g~80g
	・酒 大さじ3
	・塩 少々

〈作り方〉
①Aを混ぜ合わせて30分以上そのまま浸しておく。
②Bを混ぜ、Aと合わせる。
③火にかけ、かき混ぜ、九部通り固まったら火からおろし、2~3分かき混ぜる。
④型に流して固める。

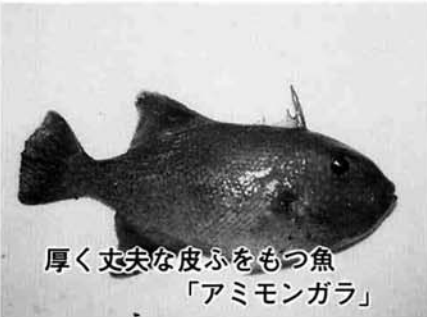


みなさんの
おいでを
お待ちしております

水族博物館
だより

大量
漂着

アミモンガラ



厚く丈夫な皮ふをもつ魚
「アミモンガラ」

とても水族博物館の職員にとつては楽しい時期でもあります。そんな十一月の大シケの翌日、水族博物館の下の海を見ると何かフラフラ泳いでいる魚が多くいました。網ですくってみるとアミモンガラという暖流系

秋から冬の時期になると暖流系の魚が水族博物館に持ち込まれることが時々あります。毎年必ずといっていいほどやって来る魚や初めて見る魚など様々ですが、

後日、いろいろな情報をいただき、話を聞いてみると、やはりこの日、寺泊の浜に数百尾以上のアミモンガラが漂着したことがわかりました。これほど多くが漂着したのは初めてのことではないかと思えます。アミモンガラはフグ目モンガラカワハギ科の魚で、全世界の温帯

の魚で、以前も持ち込まれたことのある魚でした。この日だけで100尾ほど捕らえましたが、アミモンガラは冷たい海のため、すべてが衰弱していて、とてもやせていました。果して生きてくれるかどうかかわかりませんが、とりあえず温かい海水の予備水槽へ収容し、様子を見ることにしました。

熱帯に分布しており、体長30cmほどになります。(今回漂着した多くは15~20cmほどのものがほとんどでした。)

普通、沖合いに生息し、時に大きな群れを作ることもあり、幼魚は流れ藻や浮遊物について沖合いの表層を泳いでいます。しかし、一本釣り漁業の餌に集まるため漁業者を困らせることもあるそうです。食用としては市場へ出ることもあるようです。

その後、収容したアミモンガラは傷を治す薬を入れた予備水槽の中でほとんどが回復し餌も食べるようになりました。そして今では展示水槽に移され、元気に泳ぎまわっています。

●人のうごき (12月1日現在) ●

人口	12,903 (-12)
男	6,184 (-3)
女	6,719 (-9)
世帯数	3,176世帯 (-4)
出生	6人
死亡	7人
転入	10人
転出	21人

()内は前月比

第2回 越のまほろば
冬まつり in 分水町

楽しい企画で、皆さんのおいでをまってま〜す!

とき
平成6年2月26日(日)
午前10時~午後4時

ところ
分水町総合体育館

主催
弥彦地区観光連盟



町税は納期内に
納めましょう

平成6年度1月納期一覧表

種別	期別	納期
町県民税	4	1月16日~ 1月31日

……ご注意……

最近、電気変圧器(小型機器)のセールスや使用をめぐるトラブルが発生しております。

- 「電気代がお安くなります……」などの甘い言葉をかける、変圧器のセールスやリースにご注意ください。
- 使用方法によっては、電気の契約に違反することがあります。
- 万一、変圧器設置の勧誘や、その他ご不明の点がございましたら、東北電力秋田営業所にお問い合わせください。

＝問い合わせ先……☎0256-63-3151・お客さま係＝



農家のみなさん、おわずれなく
農業委員会委員選挙人名簿
登載申請書の提出

例年、1月1日現在で行っています農業委員会委員選挙人名簿登載申請の月となりましたので、忘れずに提出してください。

◎提出期限 平成7年1月10日(火)

◎提出場所 各地区の嘱託員

※問い合わせ先 寺泊町農業委員会事務局
(☎75-3111)

交通遺児等への
育成資金(無利子)
貸付け



自動車事故対策センターでは、自動車事故により保護者が亡くなられたり、重度の後遺障害によって生活にお困りのご家族の児童に無利子の育成資金をお貸ししています。

対象者
自動車の事故で一家の働き手が亡くなられたり、重度の後遺障害などで生活にお困りのご家族の中学卒業までの遺児等です。

貸付け額
一時金が、(申込時)14万9千円
月々の額が、1万9千円
支度金(小、中学校入学時)が、4万2千円です。
利子 無利子です。

貸付対象期間 0才から中学卒業までです。
返済期間
中学卒業から一年据え置いた後20年以内です。
(高校、大学等進学者は卒業まで猶予です。)

返済方法 月賦、半年賦による均等払いです。
※問い合わせ先
詳しいことは、自動車事故対策センター新潟主管支所へご連絡下さい。
電話 025-283-1141 住所 新潟市新光町6番地4